

名古屋大学附属図書館所蔵西洋古典籍デジタルライブラリーの紹介

An Introduction of the Nagoya University Digital Library of Western Books

名古屋大学附属図書館研究開発室
Nagoya University Library, Nagoya University Library Studies

松 波 京 子
MATSUNAMI, Kyoko

Abstract

This report introduces the Nagoya University Digital Library of Western Books released on the Internet in July 2018. This digital library was funded by Grants-in-Aid for Scientific Research with the aim of widening the reach of the rare Western books held by Nagoya University Library. The feature of this digital library is that detailed descriptive catalogues are attached to the Western classical accounts that are stored. Essentially, the works published before the nineteenth century are not necessarily of the same edition even if they are printed at the same time, because of the historical features of the binding process. By merely digitizing the entire content of the work and publishing it in the Digital Library, the user was perhaps not able to understand the characteristics of the work. This digital library was created in consideration of this aspect. However, because of budgetary constraints, only publications that are rare and highly suitable for publication globally are given preference for digitization, and the number of works currently being published is 132. In this report, we shall introduce the characteristics and usage of this digital library.

Keywords

西洋古典籍・貴重書・稀覯書 (Western Rare books),
デジタル・アーカイブ (Digital archives), デジタルライブラリー (Digital Library),
書誌 (Bibliography), 目録 (Descriptive cataloging),
ホッブズ・コレクション (Hobbes Collection), 水田文庫 (Mizuta Library),
名古屋大学附属図書館 (Nagoya University Library)

1. はじめに

名古屋大学附属図書館は、「名古屋大学附属図書館所蔵西洋古典籍デジタルライブラリー（以下、西洋古典籍デジタルライブラリー、と記す）」を2018年7月に公開した。このデジタルライブラリーは、独立行政法人日本学術振興会平成29年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費、課題番号：17HP8042）の交付を受けて作成された「ホップズ・水田コレクションデータベース」が根幹であり、今後は収蔵コンテンツを徐々に増やしていく計画である。

当館はホップズ・コレクション、18世紀フランス自由思想家コレクション、水田文庫などを中心として、西洋古典籍の貴重書を約1万点以上所蔵している¹⁾。日本における近代西洋社会思想史研究資料群としては大変貴重なコレクションであるが、利用者が気軽に利用できるかといった利便性という側面では課題を抱えていた。「西洋古典籍デジタルライブラリー」は当館が貴重書として所蔵する西洋古典籍を、一部ではあるが簡易に利用できるように試みたプロジェクトである。

予算的な制約があったため、世界的にみて希少性の高い著作や、公開にふさわしい著作を優先してデジタル化した。今回公開された資料の中には、手稿等が4点（アダム・ファーガソンの講義ノート、ジョン・トーランド『パンシースティコン (*Pantheisticon*)』、フレレ『トラシュブロスからレウキッペへの手紙 (*Lettre de Thrasybule à Leucippe*)』、「ヘンリエッタ・マリアの契約書 (1663年12月18日、*Indenture*)」をはじめ、トマス・ホップズ『リヴァイアサン』初版3点の2セット（ホップズ・コレクション初版3点と水田文庫の初版3点の計6点）や、ルソー『エミール』初版2点、更に2017年7月の時点においてECCOなどで画像データが確認できなかった古典籍8点を含む、132点が2019年3月末時点で公開されている。

このデジタルライブラリーの特徴は、収蔵されている西洋古典籍に詳細な書誌目録が付随している点である。基本的に19世紀以前に発行された著作は製本過程の歴史的特徴から、同時に印刷された版であっても、同一の印刷物とは限らない。著作の全文をデジタル化して公開しただけでは、利用者にはその著作の特徴がわからないという問題

が西洋古典籍には生じるのである。本デジタルライブラリーは、この点を考慮して作成された。

これらを積極的に活用していただけるよう、本報告では「西洋古典籍デジタルライブラリー」の閲覧方法及び、利用方法を紹介する。

2. 全データの閲覧方法と個別の検索方法

2.1. 「西洋古典籍デジタルライブラリー」へのアクセス方法

「西洋古典籍デジタルライブラリー」へのアクセス方法は以下の方法がある。

- ①google等の検索サイトで、「西洋古典籍デジタルライブラリー」と入力し検索する
→2019年3月末現在の検索結果では、当該デジタルライブラリーの詳細検索ページが検索上位に登場する。
- ②名古屋大学附属図書館のホームページからアクセスする。
→名古屋大学附属図書館ホームページの左下に「西洋古典籍デジタルライブラリー」のアクセスバナー（青色）があるので、そのバナーをクリックする。
- ③ウェブブラウザのアドレスバーに、
「https://libdb.nul.nagoya-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000012sktn」を直接入力する。

上記のうち、②及び③でアクセスすると、「西洋古典籍デジタルライブラリー」のトップページが表示される（図1）。

当該デジタルライブラリーの全データ閲覧を行いたい場合は、図1中の①をクリックすると、全データの一覧が表示される。

2.2. 個別の検索方法

簡易な検索であれば、図1中の②の検索ボックスにキーワードを入力すれば、キーワードに該当する著作があれば検索結果が表示される。例えば、「Leviathan」と入力し検索を実行すると図2のような検索結果が表示される。ここで表示されているのは簡易書誌のデータである。



図1.
「西洋古典籍デジタルライブラリー」
トップページ。
①をクリックすると収録されている全資料がリスト形式で表示される。
②は簡易検索用ウィンドウ。検索したいキーワードなどを入力して、検索を実行すると、該当資料があれば図2のように表示される。
③は詳細検索ページへのリンク。検索項目を絞り込みたい場合などはこちらを利用していただきたい。

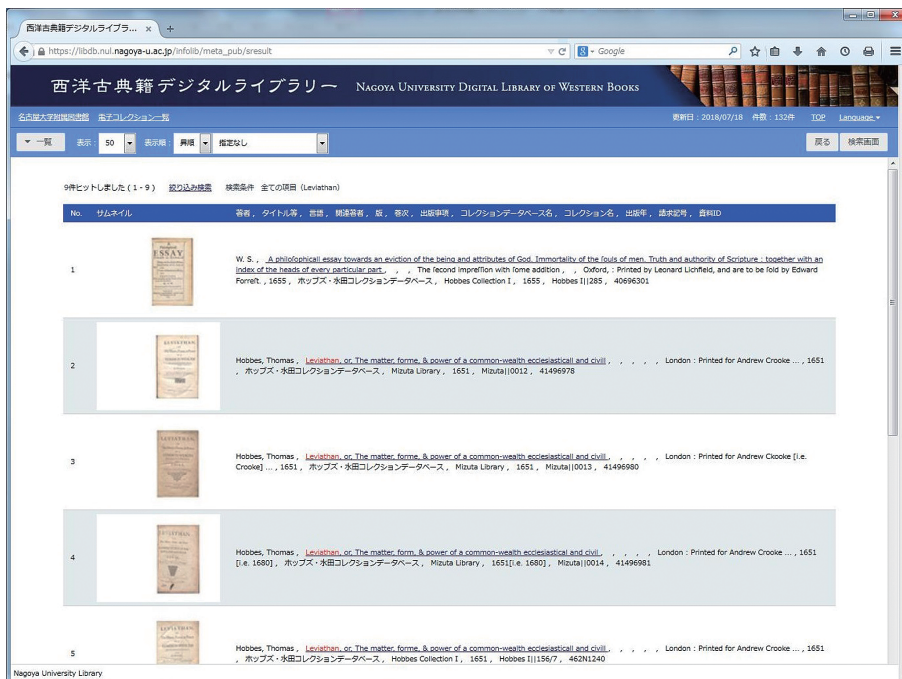


図2.
「西洋古典籍デジタルライブラリー」
検索結果の表示例。
検索キーワードにヒットした資料の簡易書誌及び標題紙のサムネイルが表示される。検索キーワードは赤色でハイライト表示される。タイトル（青い下線がついている部分）をクリックすると、書誌の詳細画面が表示される（図3参照）。

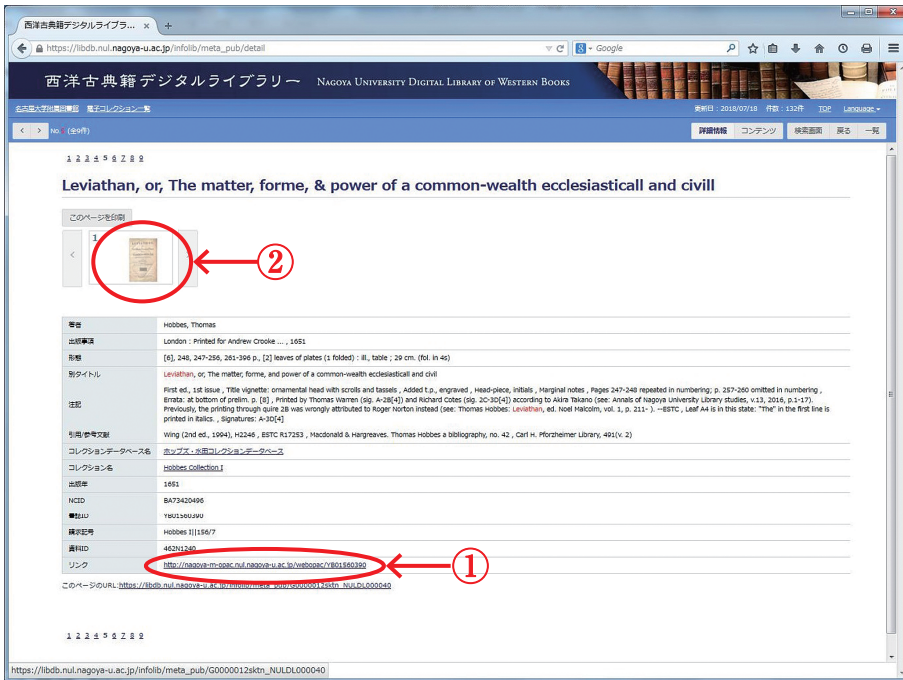


図3.
「西洋古典籍
デジタルライブラリー」
書誌詳細画面の表示例。
①から該当資料の名古屋大
学OPAC書誌詳細を確認で
きる。
②からは該当資料のPDFが
閲覧できる (図4参照)。

図2のいずれかのタイトル (タイトル、下線がついている部分) をクリックすると、クリックした資料の詳細な書誌が表示される (図3)。この書誌目録は、残念ながらNACSIS-CAT (国立情報学研究所が提供する大学図書館等の総合目録・所在情報データベース) に登録されているデータと連動していない。今回デジタル化した資料については

書誌情報を再調査し、修正登録された最新の書誌目録をNACSIS-CATから抽出し、本デジタルライブラリーで再データベース化したものである。最新の書誌情報を参照されたい場合は、リンク欄 (図3の①: 名古屋大学図書館の該当書誌OPACリンク) をクリックし、表示されたOPAC情報を確認していただきたい。

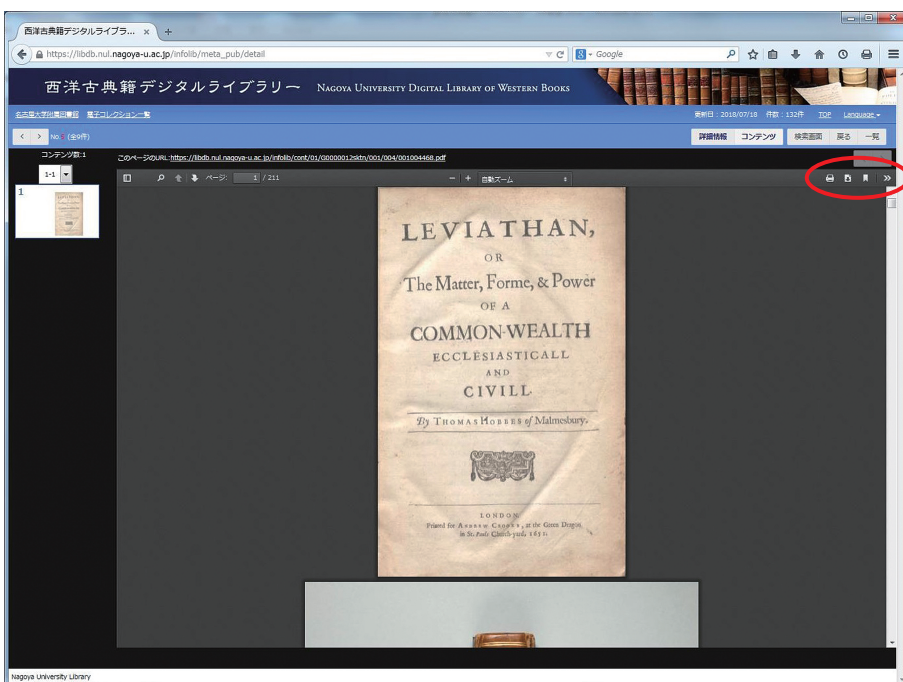


図4.
「西洋古典籍
デジタルライブラリー」
デジタル資料の表示例。
赤枠のアイコンから、印刷
や保存ができる。
ブラウザによっては遷移
した時点ではアイコンが出
てこない場合があるが、こ
の場合はマウスを右クリッ
クし「名前をつけて保存」
などで対応できる。

次に、図3のサムネイル（図3の②：小さく表示されている標題紙）をクリックすると、資料をデジタル化したPDFファイルが表示される（図4）。このPDFファイルは図2のサムネイルをクリックしても表示される。この画面では下方向にスクロールすると資料全体（表紙、背表紙、見返し（効き紙、遊び紙）、折丁に含まれる白紙、折込図版、裏表紙等、資料全体をできる限り撮影した）の画像データが展開する。図4中の赤枠付近にPDFファイルを「印刷する」、「保存する」といったアクションができるアイコンが表示されるので、個人のパソコン等に当該資料のPDFファイルの保存を希望される場合は、ここから作業をしていただきたい。ただし、「西洋古典籍デジタルライブラリー」に収録されているコンテンツデータは、1つのファイル容量がおおよそ100-200MBとかなり大きなサイズのファイルとなっているので、ダウンロードされる際はWi-Fi環境下等で実施することを勧めたい。なお、利用に際しては、「西洋古典籍デジタルライブラリー」トップペー

ジの「利用について」を御一読いただいた上でのご利用をお願いしたい。

3. 多巻本と合冊本について

多巻本である場合は、図5及び図6のように表示される。多巻本の場合は、検索結果画面に表示されるサムネイルの画像が巻本数だけ増える。それぞれの巻ごとに標題紙のサムネイルが表示されているので、表示したい巻本をクリックしていただきたい。さらに、合冊本（全く別に刊行された本であったが、1冊の本として製本された本のこと）の場合は、1冊の刊本としてのデジタルデータではなく、NACSIS-CATに登録されている書誌に対応した資料単位でのデジタルデータとなっている。合冊本の場合のデジタルデータには、それぞれのデジタルデータに本の表紙と背表紙の画像は収録されているが、裏表紙の画像は合冊本の最後に収録されている本にあたるデータのみ収録されていることを注意されたい。

4. 最後に

以上、「西洋古典籍デジタルライブラリー」について簡単に紹介させていただいた。今回公開されたデジタルライブラリーは予算的な制約から当館が所蔵する西洋古典籍の一部しか公開することが叶わなかった。しかしながら当館の西洋古典籍利用希望者の利便性を鑑みた場合、遠方から当館へ直接アクセスしたり、事前の閲覧申請許可を得なくてはならないといった経済的・時間的な制約は大幅に緩和されたのではないだろうか。

「西洋古典籍デジタルライブラリー」に残された課題が全く無いわけではない。検索が多言語に対応できない点²⁾や、名古屋大学図書館のOPAC検索結果画面から直接「西洋古典籍デジタルライブラリー」に遷移できない等が残された主な課題である。これらの課題を解決するためには予算的な制約があり、簡単に解決することはできないが、様々な工夫で解決できないか検討中である。

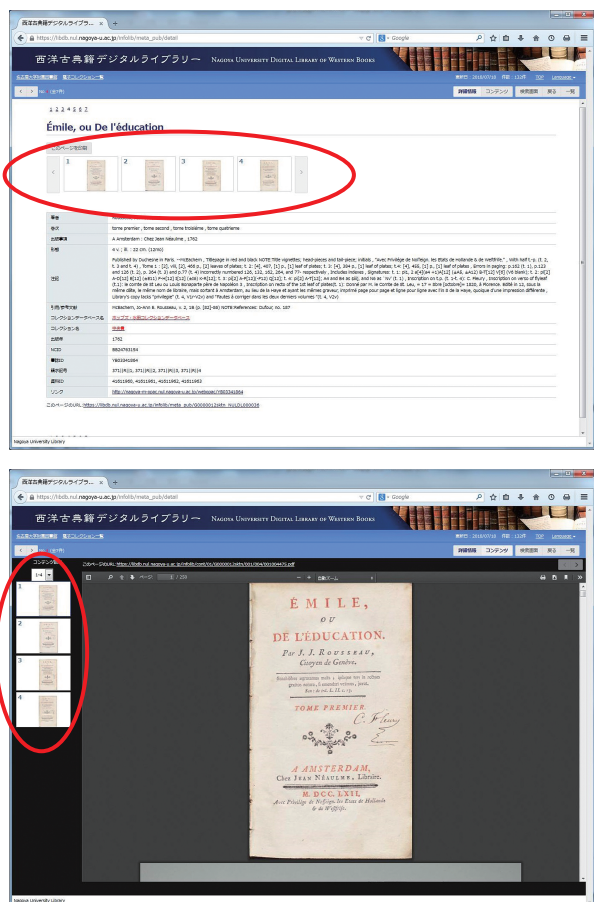
また、現在の環境ではサーバ容量に制限がある

図5(上)、及び図6(下)。

「西洋古典籍デジタルライブラリー」

多巻本の表示例。

赤枠のように巻本数分のサムネイルが表示される。



ため、高画質で撮影したデータを圧縮して公開している。高精細画像は、肉眼では確認しづらい情報でも画像をかなり拡大して見る事が可能であり、場合によっては資料そのものよりも確認作業がしやすいことがある。この高画質デジタル資料も将来的な公開を目指しているが、具体的な方法は現在検討中である。

今後も年間に数点ずつとはなるが、デジタルライブラリーの拡充を計画している。西洋古典籍を直接手に取り見ていただくことが利用者にとって最善ではあるが、気軽に西洋古典籍を閲覧できる利便性の提供といった点においては、デジタルライブラリーは非常に役に立つツールであると考えられる。興味のある方は、是非気軽にアクセスしていただきたい。

最後に、本稿の執筆に際して、菊池有里子氏（図書情報係長）、林梨恵子氏（学術情報システム係）及び中井えり子氏（元研究開発室研究員）に多大なご協力・ご助言をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

注

- 1) 名古屋大学所蔵の貴重書については、名古屋大学附属図書館「貴重書・コレクション (<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/collection/collection.html>)」を参照。
- 2) 名古屋大学図書館では現在、対応策を検討している。例えば、フランス語の é の文字を e で検索するといった機能は実装済である。しかし合字 (Æ, æ, ß といった文字) 等について、「ae」や「ss」で検索してヒットできるように対応を予定しているが、未検証のため実現できるかは不明である。実際に利用した際に、検索できない文字等を発見された場合は、是非ご一報下さい。

<主な参考文献>

- 1) 水田洋「ホップズ・コレクションについて」、『館燈』67号（1982年）、567-568頁。
- 2) 中井えり子「大学図書館と特殊コレクション - 名古屋大学の西洋古典籍特殊コレクシ

ン]、『カレントアウェアネス』No. 323（2015年、CA1842）、8-10頁。